

編集後記

KUAJ 2018 No.06 は、神戸大学工学研究科建築学専攻・工学部建築学科の 2018 年度の卒業研究・修士論文とデザイン関連演習科目の主な学生作品をまとめたものである。

本編集に関しては KUAJ 編集委員として編集を担当した越智誠君、具志堅美菜子さん、米倉良輔君、そして昨年に引き続いて松田星斗君にも協力していただき、その他多くの学生のみさんにも協力していただきました。ここに記して感謝の意を表したいと思います。

(高麗憲志／編集担当)

KUAJ 2018 No.06

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻・工学部建築学科作品集

2019 年 3 月 26 日発行

編集担当

教職員：高麗憲志（技術職員）

学生：松田星斗（A65） 越智誠（A66）

具志堅美菜子（A66） 米倉良輔（A66）

表紙／裏表紙撮影：齋藤愛（A65）

発行：神戸大学建築学教室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL：078-803-6065（建築学事務室）

印刷・製本：一印刷

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻

神戸大学工学部建築学科

K  
U  
A  
J  
  
2  
0  
1  
8



No. 06

神戸大学  
建築学教室

# KUAJ No.06

Kobe University Architectural Journal 2018



目次	ページ
<b>00</b> 建築学科・建築学専攻紹介	01
<b>01</b> 卒業設計	02
<b>02</b> 修士設計	12
<b>03</b> 造形演習 A・B	20
<b>04</b> 設計基礎 A	21
<b>05</b> 設計演習 I A	22
1. RC造トレース 2. 木造住宅トレース	
設計演習 I B	
阪急六甲駅周辺に建つ小事務所	
<b>06</b> 設計演習 II A	25
住宅設計	
設計演習 II B	
地域の図書館 — 地域図書館 + ○○○ —	
<b>07</b> 設計演習 III A	30
都賀川沿いに建つく子育てスクエア	
設計演習 III B	
面構造によるメモリアル空間	
<b>08</b> 計画演習 I A	36
近畿圏の大学のためのセミナーハウス	
計画演習 I B	
STATION×ARCHITECTURAL STUDIOS	
<b>09</b> 計画演習 II	43
1. 神戸ウォーターフロント マスタープラン課題	
2. 神戸ウォーターフロント ランドスケープ課題	
<b>10</b> 設計演習特論	48
FUTURE FRONT CITY	
<b>11</b> 神戸大学 × 天津大学 国際ワークショップ	52
神戸港開港180年の都心ウォーターフロントをデザインせよ	
<b>12</b> 神戸建築学	54
曾野 正之 「新しいタイポロジーへ」	
<b>13</b> 設計基礎A 特別演習	56
<b>14</b> 計画系研究室プロジェクト報告①	57
<b>15</b> 計画系研究室プロジェクト報告②	58
<b>16</b> 2018年度 卒業設計・修士設計題目一覧	59
<b>17</b> 2018年度 卒業研究・修士論文題目一覧	60
<b>18</b> 2018年度 コンペ受賞者一覧	62
2018年度 デザイン関連演習科目 担当一覧・建築学教室 構成と教育組織	

## 2018 年度 デザイン関連演習科目 担当一覧

	前期 (1Q2Q)		後期 (3Q4Q)	
学部 1年生	造形演習 A(8回)	造形演習 B(8回)	設計基礎 A(15回)	設計演習 I A(14回)
	藤原洋次郎 [平面作家] 小林照尚 [彫刻家]	藤原洋次郎 [平面作家] 小林照尚 [彫刻家]	槻橋 修 (准教授)	近藤民代 (准教授) 山口秀文 (助教) ピニエロ・アベウ (助教)
学部 2年生	設計演習 I B(15回)		設計演習 II A(15.5回)	設計演習 II B(14.5回)
	北後明彦 (教授) 中江 研 (准教授) ピニエロ・アベウ (助教) + 構造系		山崎寿一 (教授) 近藤民代 (准教授) 山口秀文 (助教) 山隈直人 [神戸山手大学教授] 島田陽 [島田陽建築設計事務所]	黒田龍二 (教授) 槻橋 修 (准教授) 栗山尚子 (准教授)
学部 3年生	設計演習 III(前半 20.5回/後半 22.5回)		計画演習 I (前半 21.5回/後半 20.5回)	
	槻橋 修 (准教授) 小林直紀 [安井建築設計事務所] 中江 哲 [鹿島建設]	遠藤秀平 (教授) 竹口健太郎 [客員教授・アルファヴイル] 光嶋裕介 [客員教授・光嶋裕介建築設計事務所]	末包伸吾 (教授) 中江 研 (准教授) 浅井 保 (助教)	大谷弘明 [客員教授・日建設計] 近井 務 [客員教授・大林組] 小幡剛也 [竹中工務店]
学部 4年生	計画演習 II (前半 14.5回/後半 26.5回)		卒業研究	
	近藤民代 (准教授) 栗山尚子 (准教授) 所属研究室教員	吉武宗平 [鳳コンサルタント] 岩瀬諒子 [岩瀬諒子設計事務所] 向山雅之 [竹中工務店] 近藤民代 (准教授) 栗山尚子 (准教授)	所属研究室教員	
博士課程 前期過程 1年生	設計演習特論 A (16回)	設計演習特論 B (15回)	学内インターンシップ	
	所属研究室教員	遠藤秀平 (教授) 末包伸吾 (教授) 槻橋 修 (准教授)	遠藤秀平 (教授) 末包伸吾 (教授) 槻橋 修 (准教授)	

## 2018 年度 建築学教室 構成と教育組織

講座名	教育研究分野	教授	准教授	助教	助手	技術職員	事務職員
空間デザイン	建築・都市デザイン	遠藤秀平	槻橋 修			高麗憲志	橋美保
	住宅・コミュニティ デザイン	末包伸吾	栗山尚子	浅井 保		金尾優	中原奈央
	構造デザイン	多賀謙蔵		岸田明子※		橋高康介	
	建築マネージメント		大谷恭弘 藤永 隆				
建築計画 建築史	建築史・歴史環境論	黒田龍二	中江 研				
	地域・住宅計画	山崎寿一	近藤民代	山口秀文			
	建築・都市安全計画	北後明彦		ピニエロ・アベウ			
構造工学	構造性能工学	孫 玉平		竹内 崇			
	構造制御工学	田中 剛	難波 尚	浅田勇人			
	構造システム工学	藤谷秀雄	向井洋一	伊藤麻衣※			
環境工学	音・光環境計画	谷 明勲	山邊友一郎				
		阪上公博	佐藤逸人	奥園 健			
	熱・空気環境計画		鈴木広隆				
	都市環境・設備計画	松下敬幸	高田 眺	中嶋麻起子			
			竹林英樹				
		團 紀彦 [客員教授・神戸大学] 大谷弘明 [客員教授・日建設計] 近井 務 [客員教授・大林組] 竹口健太郎 [客員教授・アルファヴイル]	光嶋裕介 [客員教授・] [客員教授・]				

## 環境との共生、安全で豊かな生活空間の創出

建築学は人間生活の基盤である住宅や建築施設を創造する最も普遍的な学の一つです。人と地球に関わる普遍的課題と先端的課題に応えるためには、「計画」・「構造」・「環境」という建築の基礎的学問領域を修めると同時に、これらを総合して課題に対応する「空間デザイン」の能力が求められます。

建築学専攻は、変化する時代の確に、また、総合的に対応できる人材の養成を目指して、専門性と総合性の結合した教育を行います。

### 構成

#### 空間デザイン講座

建築・都市デザイン、住宅・コミュニティデザイン、構造デザイン、建築マネジメントなど、空間創造のための総合的・実践的な教育研究を行います。

#### 建築計画・建築史講座

建築史、歴史環境、地域・住宅計画、建築・都市防災と建築計画、都市計画など、デザインの基本的な領域に関する教育研究を行います。

#### 構造工学講座

建築構造物の安全性、各種構造物の部材や接合部の力学挙動と構造解析、耐震構造・制振構造などの耐震安全性、性能向上、構造システム等に関する教育研究を行います。

#### 環境工学講座

建築物における音、熱、空気、光などの環境の解析と制御及び地域や都市における環境の解析と計画に関する教育研究を行います。

#### 地域減災計画

平成17年度から総務省消防研究センターと連携し、地域減災計画の教育研究分野における連携講座が設置されました。都市レベルある

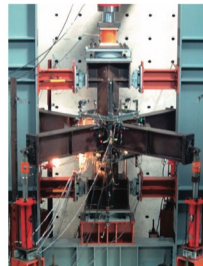
いはコミュニティレベルの災害や犯罪等の危険度を予測し制御する技術を開発するとともに、その情報を共有化し視覚化する支援システムを構築し、さらには環境減災設計 デザイン手法として体系化することを目指し、それらのシステムや手法を具体的な地域空間に適用することによって、安全な地域空間形成をはかる教育研究を行っています。

#### 減災デザインセンター(CResD)

平成29年度に設立されたセンターで、減災社会実現のため様々な知見を、「デザイン」を通して社会実装していく手法開発のための研究拠点です。国際的視野で、しなやかな都市社会の創造をめざして、実験的、実践的、開放・融合的な研究を分野横断的に行います。

#### レジリエント構造研究センター(ReSRC)

レジリエント構造研究センターは、巨大地震などに対して構造工学の多角的な研究を統合し、都市レベルでレジリエンスを向上させる研究を推進します。国際的な研究成果の達成を目指し、国内外の機関とも連携して、災害に強い未来都市の創生に取組みます。



## Symbiosis of architecture and environment, Creation of safe and comfortable living space

Architecture is eminently universal field of learning, concerning the creation of housing, architectural facilities, - basis of human life. In order to respond to both universal and up-to-date architectural problems, it is necessary not only to study basic fields of architecture (design and planning, structural engineering, environmental

engineering) but also to synthesize them for spatial design problems. Department of architecture, Kobe University aims to produce talent who can correspond synthetically to contemporary architectural challenges by educating with specialty and synthesis.

### Structure and Divisions

#### -Spatial Design Division

Synthetic and practical education and research for the creation of space:

Architectural and Urban Design, Housing and Community Design, Structural Engineering and Design Building Management.

#### -Architectural Planning, History and Theory Division

Basic education and research of the architectural design:

History and Theory of Architecture, Theory of Historical Environments, Planning Theory of Built Environment, Urban and Architectural Safety Planning.

#### -Engineering of Building Structures Division

Education and research for the safety of buildings in the case of earthquakes, improvement of building materials and structural systems:

Structural Performance Engineering, Structural Control in Dynamics, Structural Systems Engineering.

#### -Architectural Environmental Engineering Division

Education and research on analysis, control and planning of architectural and urban environment:

Planning of Acoustical and Lighting Environments, Thermal Environ-

mental Planning, Planning of Urban Environment and M & E Services.

#### -Disaster Mitigation Planning Division

This division aims to conduct practical research on a system that can respond precisely, and in a practical and effective manner, to natural disasters such as earthquakes and typhoons as well as other emergencies.

#### -Center for Resilient Design(CResD)

This design center is a research base for developing methods to implement various ideas socially through "design" in order to realize a resilient society. From an international perspective, we will conduct experimental, practical, collaborative research cross-cutting in order to create a safe and comfortable urban society.

#### -Resilient Structure Research Center (ReSRC)

To protect buildings and infrastructures in the urban area against extreme disasters, Resilient Structure Research Center (ReSRC) in Kobe University has been established since June 2016 to enhance the urban resilience researches from the structural engineering view.